

会長退任挨拶

RID2690 米子東ロータリークラブ

2019~20 年度会長職を振り返って

石部裕一

- 1 米子東ロータリークラブ 2019~2020 年の会長職を振り返ってご挨拶させていただきます。ロータリー歴も短く、幹事経験もなく、何よりも後期高齢者で体力に自信がない私は大きな不安を抱えての出発となりました。

2 クラブ運営方針～Think globally Act Locally～

ロータリー発展の鍵は「つながり」です。国際ロータリー会長のテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」に則り、まずはグローバルな視点で考え、会員同士が「奉仕活動」という同じ価値観でつながり、地域での奉仕活動を通して地域の団体や人々とつながり、地域で喜んでもらう活動を行う。そして人々と一緒にワクワクする体験をして、誇りをもって、” I’ m a Rotarian!” といえる、そういう米子東ロータリークラブを目指したいと思います。

3 活動目標

クラブ健康度チェックでも明らかなように、当クラブは、会員数に加えて、クラブでの経験、奉仕と親睦では強みがあるが、活動の質に関しては、RI が求める水準に達するにはまだまだ課題があると感じた。そこで、本年度の活動目標を 3 つ定めました。

1. ロータリー賞を獲る（本年度重点項目）
2. 将来構想策定委員会（ビジョン委員会）を立ち上げる。
3. ロータリーバッジを付ける

4 達成状況

「人々をつなぐ」の項目は 4 項目達成しました。（表 1）

行動する(以下のうち少なくとも3項目を達成)		達成度
1	少なくとも5名の会員から成るクラブ財団委員会を設置し、その委員長を国際ロータリーに報告する。	◎
2	奉仕プロジェクトに関与する会員数を増やす。	○
3	年次基金への会員一人当たりの平均寄付額が少なくとも100米ドルとなる。	◎
4	ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。	◎
5	ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。	◎
6	クラブで成功させたプロジェクトの情報(活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など)をRotary.orgに投稿する。	○
7	企業、政府団体、非政府団体とのパートナーシップを継続または確立し、プロジェクトで協力する。	X
8	ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告・資料、その他の関連資料を活用する。	○
9	クラブとロータリーの活動を伝えるためにクラブ会員がメディアと話す機会を手配する。	◎

「行動する」の項目は8項目達成できました。(表2)

人びとをつなぐ(以下のうち少なくとも3項目を達成)		達成度
1	少なくとも5名の会員から成るクラブ会員増強委員会を設置し、その委員長を国際ロータリーに報告する。	◎
2	会員1名の純増を達成する。	X
3	既存会員と新会員の維持率を維持または改善する: ・クラブの会員維持率を1ポイント上げる。または ・2018-19年度のクラブの会員維持率が90%以上である場合、これを維持する。	◎
4	女性会員または40歳以下の会員1名の純増を達成する。	◎
5	会員の職業を調べるために職業分類調査を実施し、地域社会にあるビジネスと専門職の実情に沿った会員基盤を築くために活動する。	◎
6	新しいロータリークラブまたはロータリー地域社会共同隊のスポンサーまたは共同スポンサーとなる。	X
7	インターアクトクラブまたはロータリーアクトクラブを提唱または共同提唱する。	X
8	ロータリー学友のための行事を開催し、ロータリーでネットワークを広げる機会を紹介する。	X
9	青少年交換学生またはRYLA参加者を派遣する。	X

5 今期の寄附状況 (表3)

ロータリー財団 132 万円、米山 113 万円、ポリオ 54 万円総計約 300 万円のご寄付を頂きました。総額は平年並みですがポリオチャリティー募金が出来たことが特徴です。伊藤財団リーダーを始め会員の皆様ありがとうございました。

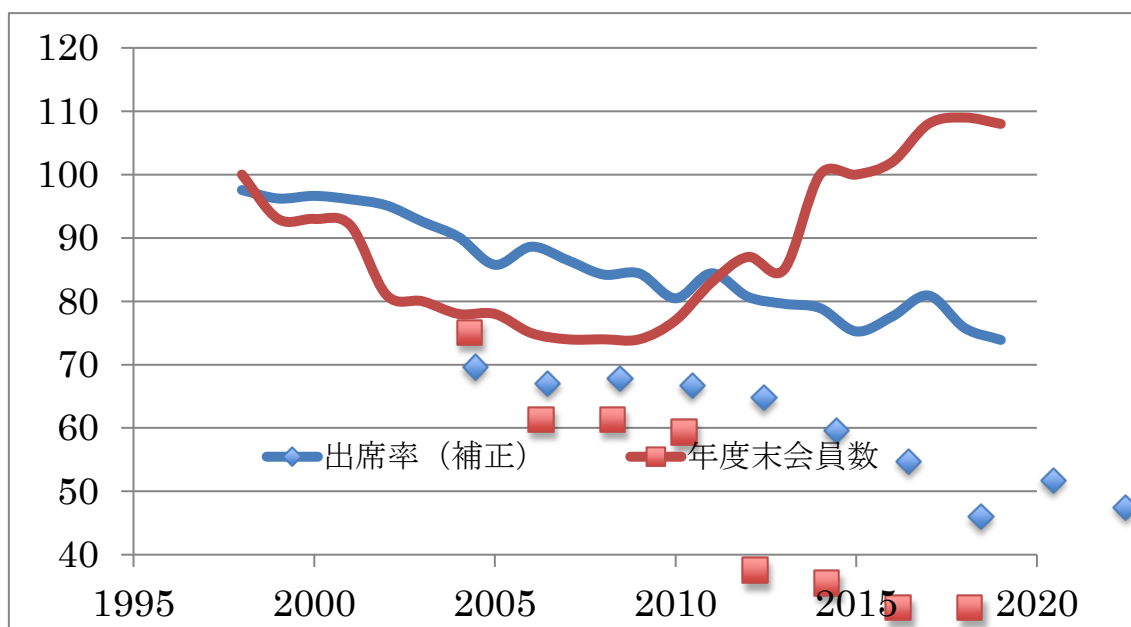
R財団			
項目	目標1人(円)	寄附人数	送金額(円)
年次寄付(個人)	17,000	66	1,015,000
年次寄付(100万ドルの食事)			200,000
恒久基金(会長)			108,000
小計			1,323,000
米山記念奨学会			
項目	目標1人(円)	寄附人数	送金額(円)
普通寄付	5,000	110	550,000
個人特別寄付	10,000	49	530,000
米山ランチ	50,000		50,000
小計			1,130,000
ポリオ			
項目	目標1人(円)	寄附人数	送金額(円)
① 納涼夜間例会			56,000
② ゴルフ同好会			18,000
③ 観月夜間例会			62,000
④ 新年例会			46,611
⑤ ライブペインティング			6,985
小計			189,596
クラブ寄付(スマイルより)	3,240	109	353,160
小計			542,756
総計額	3,240		2,995,756

6 出席率と会員数

会員数は期首 109 名から 2 名の減少で 107 名となりました。

出席率はホーム 60.8%。補正 75.4%となりました。

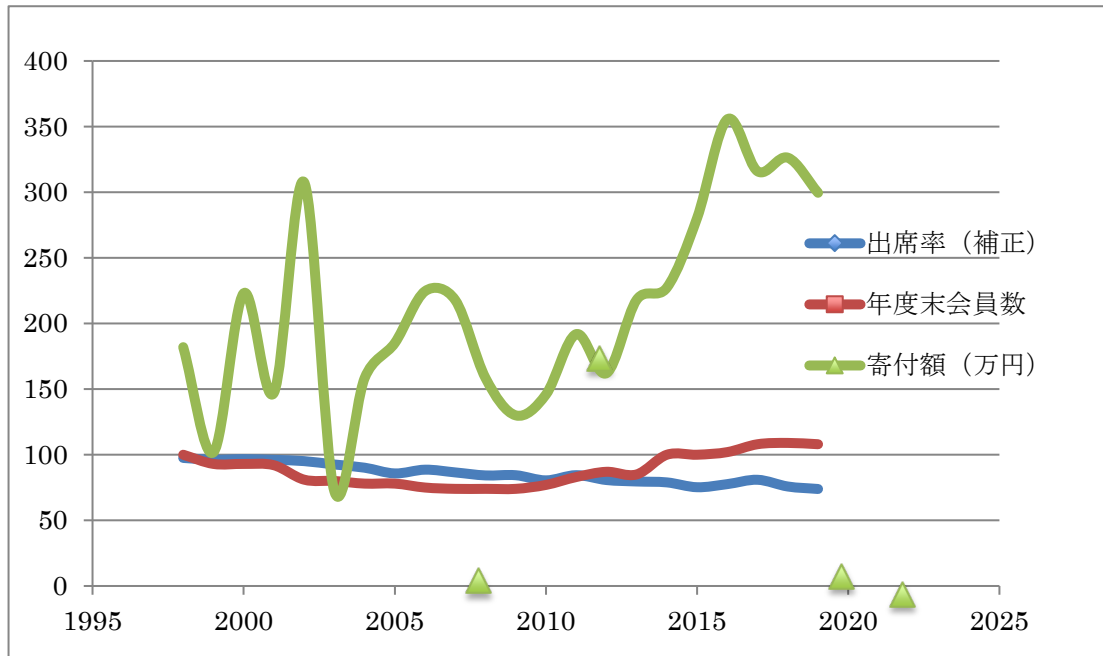
出席率低下の潮流を食い止めることが出来ませんでした。そこで出席率と会員数の推移を調べてみました(表4)。



1998 年会委員数 103 名で出席率 97%でした。その後会員数が減り始め 2008 年には 74 名まで減少、同時に出席率も 84%まで低下しています。その後会員数は 109 名まで盛り返しますが、会員数は更に低下し続け 76%となりま

した。2010 年以前は会員数と出席率が共に低下してきましたが、2010 年以降は、会員数は増え始めましたが出席率の低下が止まらない状態になりました。会員数 80 名、出席率 80%は重要な指標と思われます。

このグラフに寄付額をかぶせると、次のよう（表 5）になります。



寄付額は出席率とは連動せず会員数が増えれば出席率が低下しても増えるという傾向があります（表 6）。また寄付額は会長や財団役員の力の入れ具合により大きく増減するものです。今後、例会出席率を重視するか寄付額を重視するかも会の運営上重要な課題になると考えられます。

7 将来構想策定委員会（略称ビジョン委員会）の活動

クラブ発足 50 周年を経過した現在、クラブ運営方針について過去を振り返り、未来に向けた提言ができればと考えビジョン委員会を発足しました。今年度実施したクラブ健康調査や会員満足度調査で見られた意見を参考に、これまで 4 回の委員会で議論された。コロナ禍で予定されていたバズセッションが開催できず会員の意見を集約し切れていないが、本日の最終委員会で決定され報告書として会長へ提出される予定である。提言が今後の会に運営に生かされることを期待します。

8 阿南南 RC と交流会

10 年目を迎えた交流会。今回は阿南市夏祭りの日程を合わせて総勢 12 名で出かけました。到着すると直ちに地引き網、浜辺での合同例会開催、夕刻からは夏祭りのオープニングセレモニーでは災害協定を結んでいる米子市長のメッセージを読ませて頂きました。引き続き米子がいな祭りの法被姿で阿

南南ロータリークラブメンバーと一緒に阿波踊りに参加しました。なお翌日は大鳴門カントリークラブで親睦ゴルフ大会が行われました。楽しくまた意義のある交流会でした。写真は掲載された日本海新聞記事です。



9 恒例の大山秋の一斉清掃 2019.10.20

米子松蔭高等学校インターアクトクラブの生徒6名と参加しました(写真)。地区大会と重なり会員6名と寂しい参加数でしたが好天に恵まれ、すがすがしい1日となりました。



10 地区補助金事業 第17回米子市中学生作文コンテスト表彰式 2019.10.27

今年のテーマ：『夢を現実に』～輝いていますか？未来の君～に市内中学校2年生から410編の作文の応募が有り、クラブ員による厳正な審査の結果、最優秀賞1名、優秀賞2名、入選10名を選出しスマイルホテルで発表会と

表彰式を行いました。

来賓には共催の教育委員会様と中海ケーブルTV様2名を迎え、会員17名、生徒12名、保護者など17名が参加して盛大に行われました。発表の様子はCATVで放映。また作文は日本海新聞に全文広告掲載し市民へアピールしました。



今年は、作文コンテスト表彰式に参加する生徒や保護者を意識して三つの仕掛けを企てていました。

- ① ロータリー活動に興味をもち未来のローターアクターになることを期待して、「未来の自分応援プロジェクト」DVDを上映する⇒多少興味を持ってもらえた。
- ② エンドポリオチャリティー募金を行う⇒準備不足で募金は実現できなかったが挨拶の中でアピールした。
- ③ 生徒達とローターアクターやロータリアンが未来の夢について語る企画を提案⇒残念ながら準備段階で却下された。

・・・ということで、作文コンテストの表彰式・発表会は成功しましたが、クラブ会員の参加者が少ないことを含めて個人的には残念感が残るほろ苦い1日でした。

11 2019年中海アダプトプログラム秋の中海一斉清掃 2019.11.10

中海アダプトプログラム秋の中海一斉清掃は米子水鳥公園横湖岸で行われました。会員参加9名と少なく残念でした。実は私も個人的な理由で参加出来ませんでした。



12 社会奉仕事業 武内祐人ライブペインティング 2020.2.23

米子東ロータリークラブの社会奉仕事業の一環として、絵本作家の竹内祐人さんのライブペインティングを実施しました。障がい児と保護者の皆様、そしてロータリアンが一緒になり、ライブ形式で書き出されていく絵を楽しみ、笑顔の時間を皆で有することを目的として企画しました。完成した作品は児童発達支援事業所かがやき(所長:安達聡子会員)に寄付させて頂きました。

参加者数は63名(大人41名、小人22名)、クラブ会員22名でした。なお、このイベントはメディア数社が取材し、rotary.orgにも投稿しました。



13 RID2690 地区大会 出雲市 2019.10.19~20

18 日のゴルフ大会は土砂降りためハーフで中止となりました。本会議は出雲市で開催され参加者は写真の 12 名の他数名でした。参加者が少なく残念でした。

【報告】

地区大会の講演「国際ロータリーの現況報告～ロータリーの変遷と本質～」
RI 会長代理山崎淳一さんの講演は大変興味深く聞くことが出来ました。プレゼンが上手かったことありますが、内容も濃いもので、ロータリーの神髄をつくフレーズが随所に有り大変感銘を受けました。その幾つかを紹介します。

- ① ロータリーは奉仕団体ではない、奉仕をする者の団体である。
- ② ロータリーの磁石は親睦と職業奉仕である。
- ③ ロータリーの親睦は単なる飲み食いをする事ではない。出逢いから始まりゆるぎない信頼関係を構築することにある。
- ④ 奉仕とは世のため人のために何かをする事である。
 - ロータリーの奉仕とは基本的に職業奉仕であり、社会奉仕である
 - クラブ奉仕は親睦といっても良いし、
 - 国際奉仕は社会奉仕の延長線にあり、
 - 青少年奉仕はすべての奉仕に付随して関わる
- ⑤ あらゆるロータリーの活動は、
 - ・ 親睦と奉仕が絶妙に調和し、その積み重ねが最高の人生へと導いてくれる。
- ⑥ ロータリー活動の比重が最近、
 - 職業奉仕
 - ロータリー哲学
 - 自己研鑽
 - ・ ・ から
 - 奉仕プロジェクト
 - 寄付増進
 - 会員増強
 - 公共イメージ向上
 - ・ ・ に傾いてきている、よって、
 - 外側への働きかけと、自らの内側を見る事によって両者のバランスを取ることが大切ではなかろうか。

14 まとめと感想

- 会長としては力不足を実感しましたが、コロナ禍を含めて一年間多くの

経験をさせて頂きありがとうございました。

- 個人的には、ロータリーとは？という命題が少しだけ見えてきたような気がします。
- しかし、100 人を超えた全てのメンバーが満足できる活動をするには大きな変革が必要と思いました。
- 例会出席率や寄付額などを見る限り所謂アクティブ会員 80 人くらいが適正ではなかろうかと感じました。

以上